

ぶどう 黒とう病に

ICボルドー 66D

黒とう病に適用拡大をしました

散布回数が限られる他の薬剤の負担軽減や

べと病などとの同時防除にご利用ください！

➤登録内容

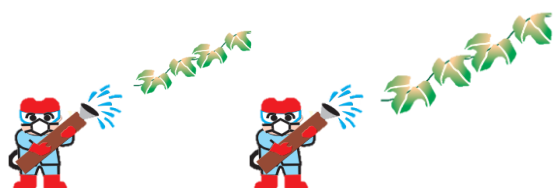
2022年9月に登録を取得しました

適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
黒とう病	50倍	200～700ℓ/10a	—	—	散布

➤散布適期

展葉期

新葉・新梢への感染を防ぐ



袋掛け・カサ掛け後から
収穫後まで

柔らかい組織(副梢)への感染を防ぎ、
越冬菌密度を下げる



➤試験結果

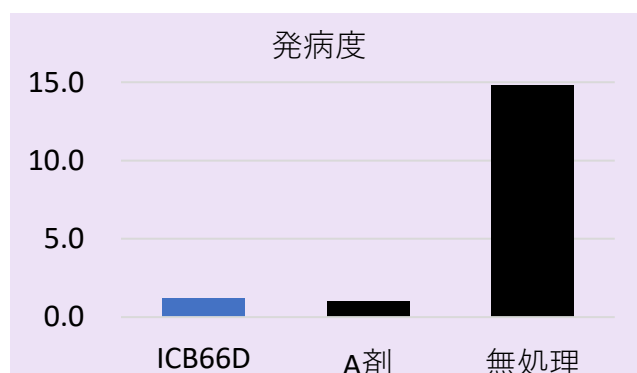
対照剤と同等の効果を示しました

地域・実施年	評価 (A~D評価のうち)	防除価	対照剤の 防除価	薬害
三重県・2019	B	73.6	73.6	—
佐賀県・2019	C	61.8	85.6	—
三重県・2020 ※1	A	92.0	93.0	—
福岡県・2020	C	69.3	79.3	±
愛知県・2020	C	60.7	53.9	—
三重県・2021	B	97.0	63.0	±

※1 2020年 三重県農業研究所伊賀農業研究室

薬剤	希釈倍数	調査葉数	発病葉率	発病度	防除価
ICボルドー66D	50	200	4.8%	1.2	92.0
A剤	1,000	200	3.8%	1.0	93.0
無処理	—	200	40.2%	14.8	—

発生状況 中発生
品種 巨峰
処理日 5/7、, 5/19, 5/29
計3回散布
調査日 6/18(最終散布20日後)



➤注意事項

- ・種なし処理をする場合、処理の2週間前までに散布を完了してください
- ・試験では葉が部分的に褐変するような薬害が見られましたが、生育上問題は無いとの見解をいただいています

